

# 「初心者でもNISAでREIT投資!」、 「つみたてNISA、どの投資信託を選べばいいの?」 ～つみたてNISA投資家(つみたてNISA適格投信)、既存投資家(投信 全体)、そして、新規投資家(NISA向けファンド)の投信フロー～

三菱UFJ国際投信株式会社 商品マーケティング企画部 松尾 健治  
窪田 真美

※三菱UFJ国際投信がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

## 「初心者でも NISA で REIT 投資!」、「つみたて NISA、どの投資信託を選べばいいの?」

2020年2月7日の楽天証券「トウシル(\*)」に楽天証券経済研究所 チーフグローバルストラテジストの香川睦氏が「初心者でも NISA で REIT 投資! リスク分散効果に注目」と言う寄稿をしていた(\*トウシルは2017年7月に楽天証券がスタートしたお金にまつわる記事や投資情報を発信する初のオウンドメディアの事)。下記はそのごく一部で、是非、オリジナルを参照の事(URLは後述[参考ホームページ]①参照)。

「日本 REIT(J-REIT)が1年前比リターン(総収益率)で+24.0%と秀でただけでなく、『リスク当りリターン』が2.53と『リスクを加味したリターン』面で優れてきた市場実績がわかります。…(略)…最近普及が拡大している一般NISA(ニーサ:少額投資非課税制度)口座でこうしたREIT型ETFに投資すれば、その売買益や分配金は最長5年にわたり『非課税』となります。すでに株式や株式投信を保有されている個人投資家は、REIT、REIT型ETF、REIT型公募投信に投資することで、リスク分散効果(ポートフォリオ効果)を期待することが可能です。なお、ファンドを選ぶ際は、コスト(売買手数料や信託報酬)にも注目したいと思います。」



初心者がNISAを利用して  
REITでリスク分散

上記寄稿の通り、日本版REIT(J-REIT)は好リターンだ。日本の投信に使われる事の多いベンチマークの1年パフォーマンスを見ると、好い順に、J-REIT、先進国株式、先進国REIT、エマージング債券円ヘッジあり、ハイイールド債券、国内株式、先進国債券である(グラフ等は後述)。J-REITは規模も拡大、政府目標「資産規模40%増(2011年度比)」は2013年12月末に達成済み(2019年10月15日付日本版ISAの道 その284～URLは後述[参考ホームページ]①参照)。ただし、NISAでREIT投資をする時の注意は覚えておいて欲しい(後述※1参照)。

同様、2020年1月22日の「トウシル」には金融庁・金融審議会「市場ワーキング・グループ」委員でもある竹川美奈子氏が「つみたてNISA、どの投資信託を選べばいいの?」と言う寄稿をしていた。下記はそのごく一部なので、是非、オリジナルを参照の事(URLは後述[参考ホームページ]①参照)。

「つみたてNISAは『株式に投資する投資信託』か、『株式を含む資産複合型(バランス型)』が対象です(債券やREITだけに投資する商品などは対象外)。長い期間をかけて運用している人は『株式に投資する投資信託』をメインに据えたいところです。…(略)…初心者の方からは『複数の投資信託を組み合わせるのは難しい』『面倒』という声を耳にします。まずは1本で世界の株にまとめて投資できる、幅広く分散された商品を購入していく方法もあります。…(略)…『値動きをもう少しマイルドにしたい』『長期で運用しない可能性もある(引き出す時期が比較的近いかもしれない)』という人は、バランス型を持つという選択肢もあります。バランス型は中身(株式と債券だけか、不動産投信も含まれるか)や配分(国内と海外の比率や各資産の比率等)が商品によって異なるので、必ず確認しましょう。とくにリスク(どの程度変動するのか)は数値をみておきましょう。」



※1: NISA で REIT 投資をする時の注意…

J-REIT については「収益の 90%超を分配するなどの一定の条件を満たせば、実質的に法人税がかからず、『内部留保』もないので、収益がほぼそのまま分配金として出されます。つまり J-REIT は、一般の株式などに比べると、投資家に分配金を出しやすい金融商品。」と言われる(投資信託協会「J-REIT の基礎知識」～ <https://www.toushin.or.jp/reit/about/basic/> )。

<REIT>

NISA で REIT 投資をすれば、分配金も非課税対象となる。ただ、NISA で投資をする株式や REIT の配当金、投信の分配金は非課税枠を使う。もしそのまま再投資すると、新規投資扱いになる(英国 ISA では分配金再投資は新規投資と見なされない～2013 年 4 月 15 日付日本版 ISA の道 その 8「日本版 ISA と無(低)分配志向と日本株ファンド～軽減税率打ち切り前に検討すること、無分配投信のこと～」～ <https://www.am-mufg.jp/text/130415.pdf> )。REIT の NISA での配当金再投資には別途非課税枠が必要で、もし非課税枠を使い切っていると、その年の再投資は非課税に出来なくなる。

<REIT 型 ETF >

NISA で REIT に投資する ETF(REIT 型 ETF)を保有すれば、決算期間中に発生した REIT の配当金(信託報酬等を控除した全額を租税特別措置法施行令により分配)がそのまま非課税枠消費となる。相対的に高い分配金が REIT の売りだが、それで別途非課税枠がより必要となって、その年を非課税に出来なくなる場合も出てくる。

<REIT 型公募投信 >

NISA で REIT 型公募投信(除く ETF)かつ低分配のものが最善となる。元本払戻金(特別分配金)の大きいものは避けるべきであろう。そもそも NISA を使わずとも非課税なのに無駄に非課税枠を使う事となるからだ。無分配の REIT 型公募投信(除く ETF)については無分配期間が「5 年を超えるものを過度な課税繰延べ」(税務大学校論叢 71 号)などと言われているので(先述の 2013 年 4 月 15 日付日本版 ISA の道 その 8)、低分配の REIT 型公募投信(除く ETF)が良い事となる。投資信託協会の言う「分配頻度が低いファンド」(2014 年 1 月 8 日付投資信託協会メールマガジン「NISA 向けのファンドって?」～ <https://www.toushin.or.jp/mailmag/backnumber/pages/detail/311/> )である。

※なお、証券会社では上記 3 つを基本的に取扱っているが、銀行等では REIT 型公募投信のみの取扱が多い。さらに注意点として、NISA 口座内で購入した ETF や REIT の分配金を非課税とするためには、証券会社で配当金や分配金を受領する「株式数比例配分方式」を選択する必要がある。

日米の投信の分配原資

2020年2月10日現在

分配原資		日本		米国	
		契約型	会社型	会社型	
追加型株式投信(除くETF)		追加型株式投信(ETF)	クローズドエンド型不動産投資法人(J-REIT)	ミューチュアルファンド、ユニットインベストメントトラスト、ETF、クローズドエンド・ファンド	
分配義務		無し	インカムゲイン(費用控除後)全額	税引前当期利益の90%超	純投資所得/Net Investment Incomeの90%以上
インカムゲイン(費用控除後)		有り	有り	有り	有り
キャピタルゲイン	実現益	有り(1956年まで無し)	無し	有り	有り
	評価益	有り(1961年まで無し)	無し	無し	無し
収益調整金及び元本払戻金(特別分配金)、利益超過分配金		有り(収益調整金)	無し	有り(利益超過分配金)	無し
分配金の希薄化・濃縮化		無し	有り	有り	有り

(出所: 日本の投資信託協会と国税庁、米国のICI/米国投資信託協会とIRS/内国歳入庁等より三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

## NISA でどの様な投信が買われてきたかを参考に

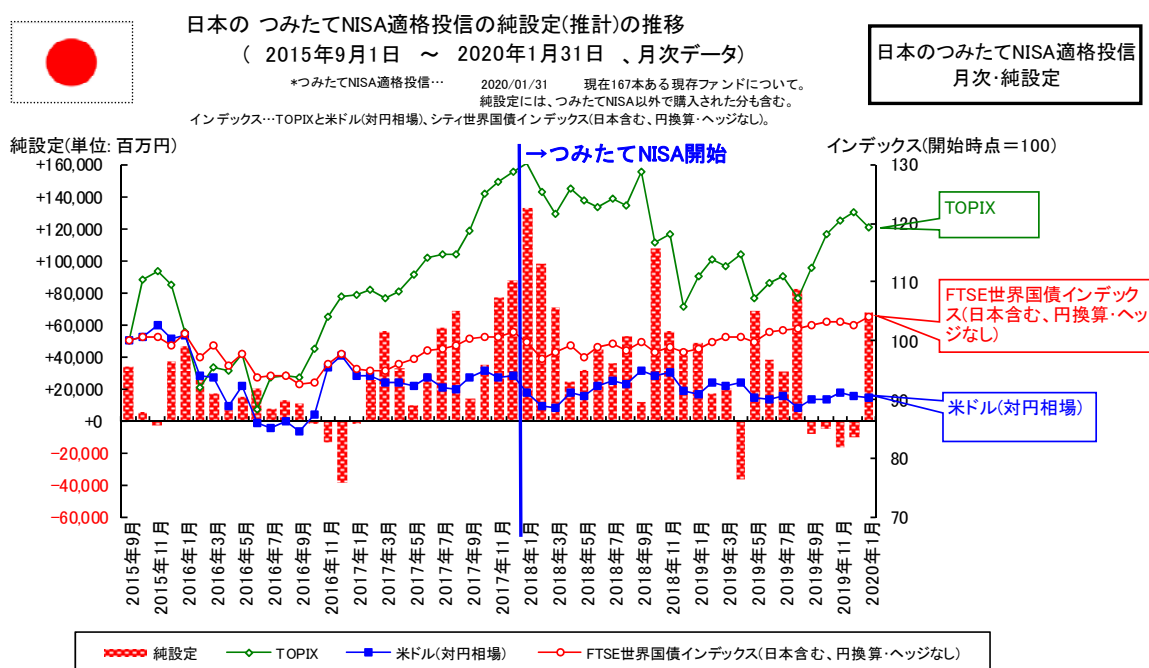
2024 年から新制度に衣替えされる一般 NISA は 2 階建てとなり、より多くの人に積立・分散投資を経験してもらうため、原則として 2 階の非課税枠を利用するには、1 階での積立投資を行う必要がある(令和 2 年度税制改正大綱等、2020 年 1 月 14 日付日本版 ISA の道 その 292～ URL は後述[参考ホームページ]①参照)。そして 1 階での積立投資だが、現行のつみたて NISA と同様の商品が対象となる。商品が選びやすいと言われるつみたて NISA だが、公募投信 173 本もある(URL は後述[参考ホームページ]②参照)。どれを選べばよいか？

下記では、当コラムで恒例となっている NISA で実際にどの様な投資が行われてきたかを見る。NISA の投資で選択される事の多い投資信託の資金動向(フロー)である。つみたて NISA の投資対象商品は投信のみだが、一般 NISA でも、投信が株式を総じて上回っているため、一般 NISA の投資家にとっても参考になるだろう(2019 年 12 月 20 日付金融庁公表～後述[参考ホームページ]②参照)。

まず、買付額では NISA 全体の 1.3%と小さいものの、20～40 歳代の資産形成層/若年層の利用が約 7 割(67.1%～2019 年 9 月末)と多いつみたて NISA についてである。

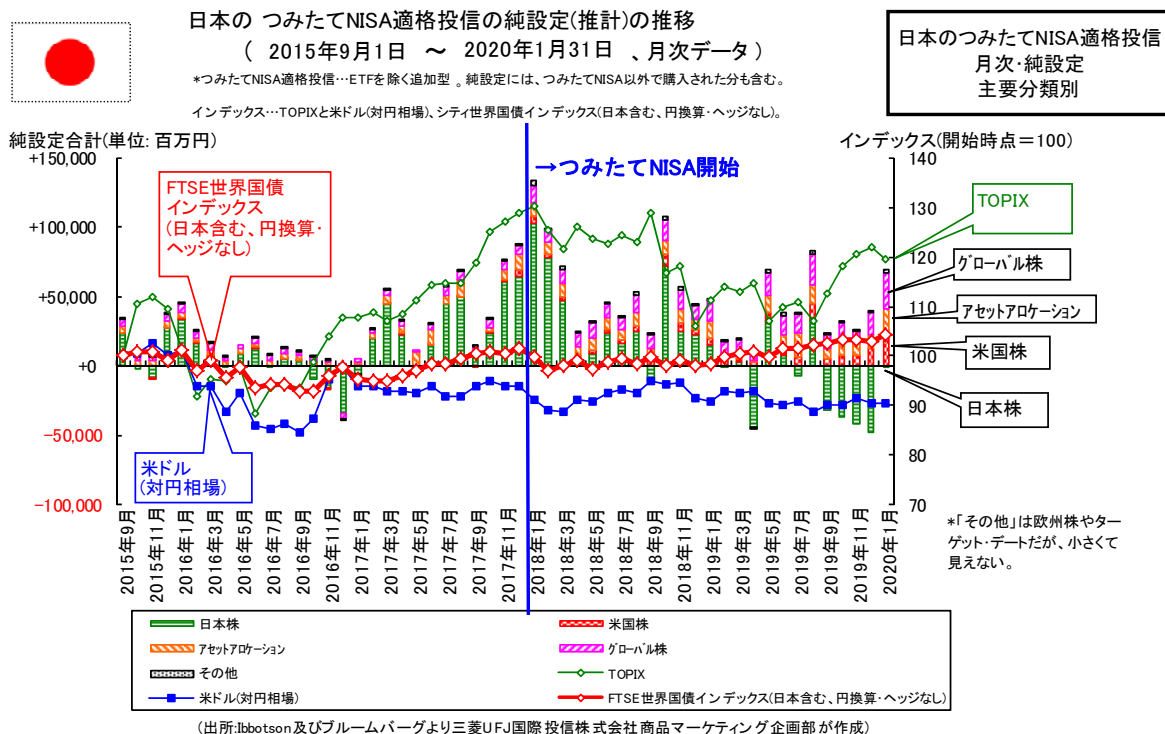
### < NISA の投信フロー～つみたて NISA 投資家(つみたて NISA 適格投信)は 2019 年に引き続き、グローバル株、次いでアセットアロケーションと米国株)～>

つみたて NISA 投資家(つみたて NISA 適格投信)の純設定を見る(\*つみたて NISA 適格投信なので、つみたて NISA 以外で購入された分も含む、ETF を除く～つみたて NISA 適格投信については後述[参考ホームページ]②参照)。純設定は、2020 年 1 月に+670 億円と 5 カ月ぶりの純流入(←12 月-104 億円←11 月-163 億円←10 月-54 億円←9 月-85 億円～2019 年 4 月以来 5 カ月ぶりの純流出←8 月+827 億円)。



5 カ月ぶりの純流入となった 2020 年 1 月の純設定を投資対象別で見る。グローバル株や米国株、アセットアロケーションが昨年 9 月頃からの純流入加速傾向である。前月 2019 年 12 月に、つみたて NISA 開始(2018 年 1 月)以降で最も大きな純流出となった日本株だが、最新 1 月は大幅に鈍化した。



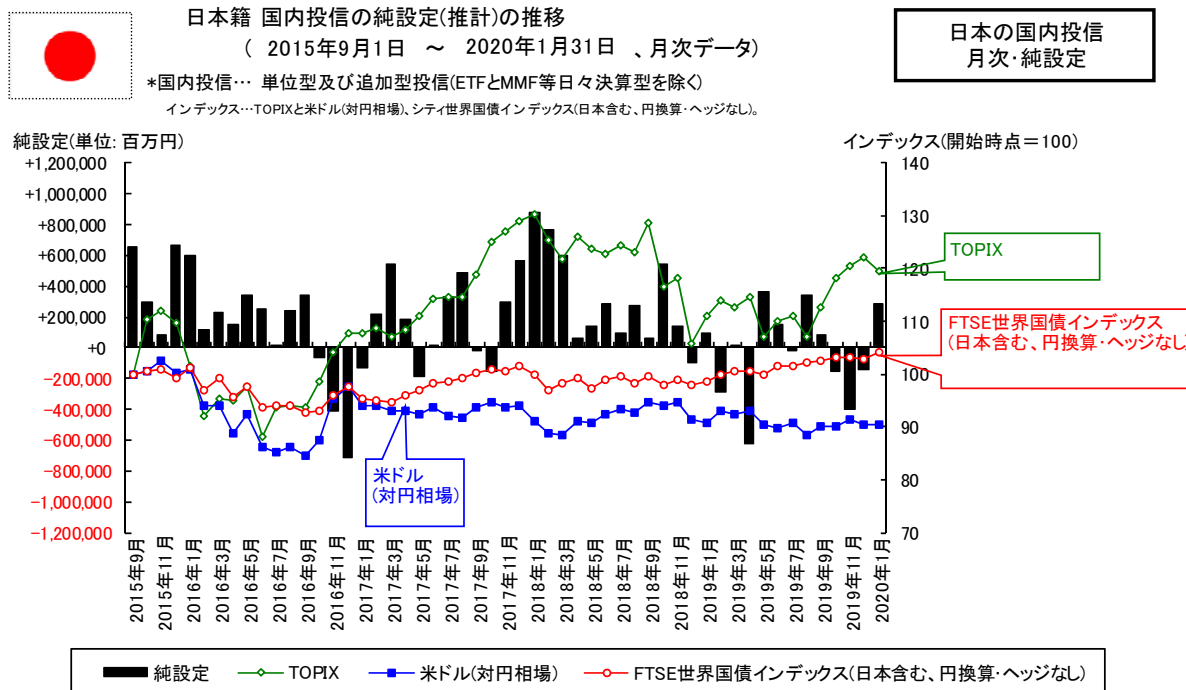


最新 2020 年 1 月の純設定 1 位はグローバル大型株 (9 月から 5 カ月連続 1 位)、2 位はアセットアロケーション標準型 (前月 12 月まで 2 カ月連続 3 位)、3 位は米国大型ブレンド株 (前月 12 月まで 2 カ月連続 2 位)、4 位はアセットアロケーション慎重型 (前月 12 月は 5 位)、5 位はエマージング株型 (前月 12 月は 6 位) だった。2020 年 1 月の 1~3 位は 2019 年の年間純設定 1~3 位と同じだった。上記グラフは主要分類にまとめたもの。

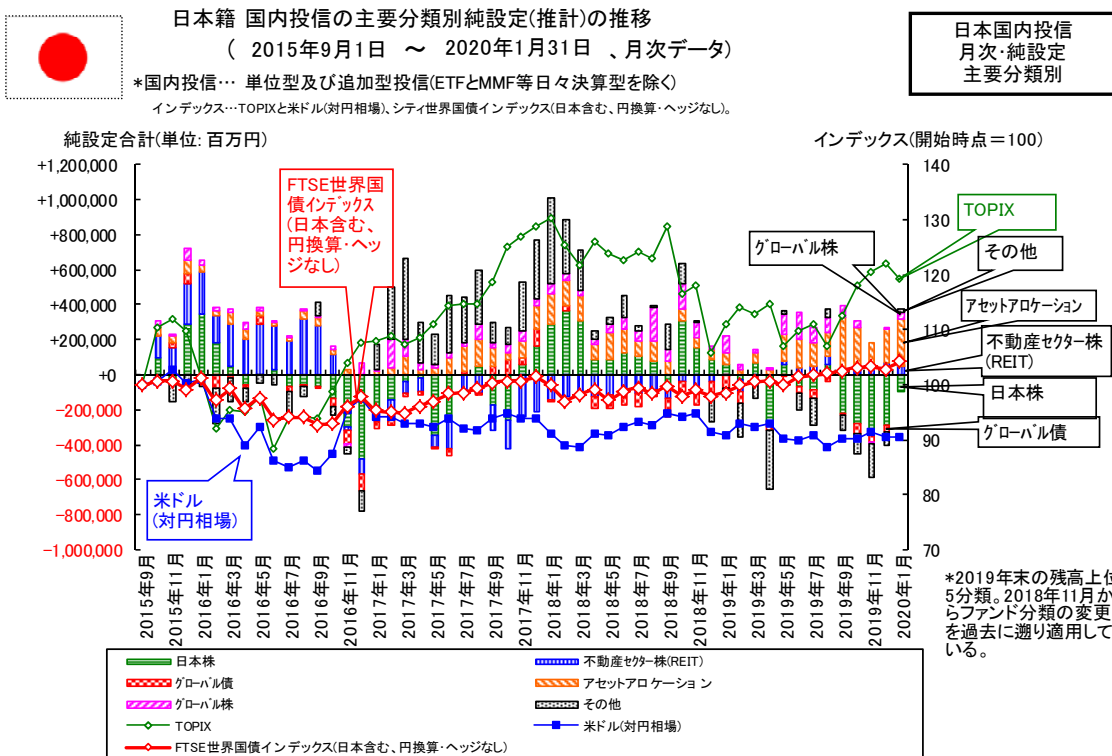
### <NISA の投信フロー～既存投資家(投信全体)はアセットアロケーション、米国株、グローバル株>

次に、投資家を「既存投資家」と「新規投資家」に分けて見る。これは日本証券業協会が「NISA を利用する層としては、投資経験及び投資資金ともに豊富で比較的年齢の高い層だけでなく、投資経験が浅くまた投資資金が少ない若年層まで幅広く考えられる。」(URL は後述[参考ホームページ]②参照)と言っている事も参考としている。前者の「既存投資家」は投信全体のフローで代替、後者の「新規投資家」は「NISA 向けファンド」(後述※3 参照)で代替して推測する。

既存投資家を示す投信全体の純設定(推計)は、最新 2020 年 1 月に+2843 億円と 4 カ月ぶりの純流入。この 1 月の純設定を投資対象(主要分類)別で見ると、1 月に純設定の大きかったのは 1 位アセットアロケーション慎重型 (前月 12 月まで 2 カ月連続 4 位)、2 位米国大型グロース株 (前月 12 月は 1 位)、3 位アセット・アロケーションその他 (前月 12 月 2 位)、4 位公益セクター株 (前月 12 月 5 位)、5 位通信株 (前月 12 月 12 位) だった。グラフは投資対象/主要分類に分けて見たもの (後述※1 参照)。



(出所:ブルームバーグ、Ibbotsonより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)



(出所:Ibbotson及びブルームバーグより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

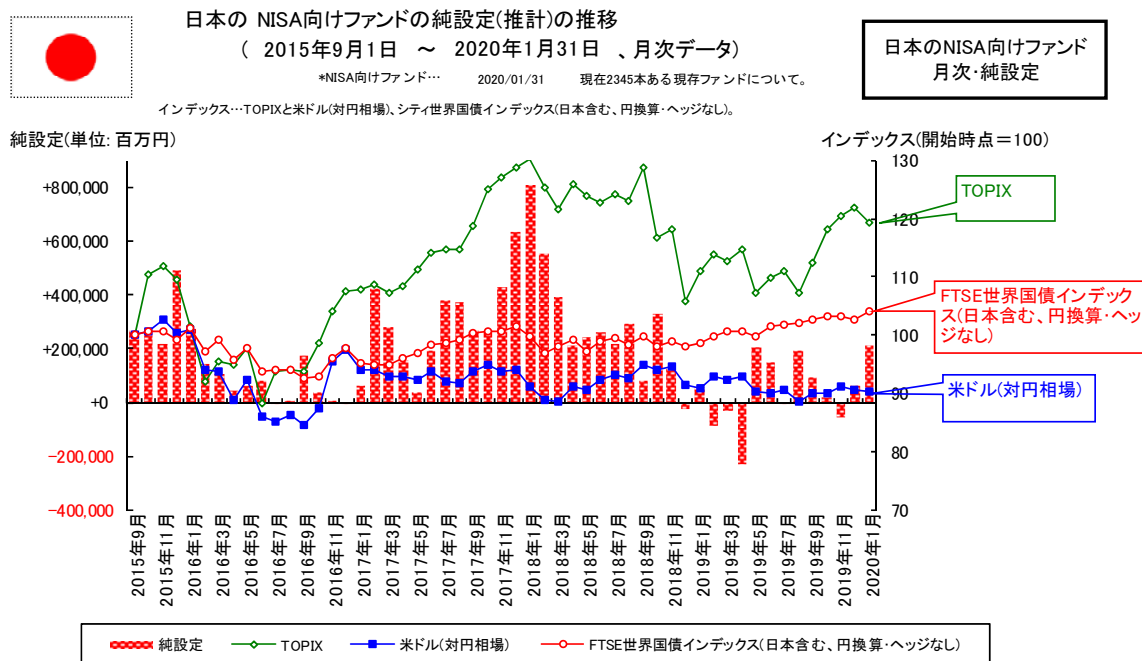
既存投資家によるアセット・アロケーション人気は継続。2020年1月にアセットアロケーション全体の純設定は+2650億円と、1月の投信全体(+2843億円)の9割超を占め、前月2019年12月(+1947億円)や、前年同月2019年1月(+662億円)を上回り、前年2019年の月平均(+1354億円)の2倍と、純流入加速傾向である。日本株は2020年1月に-912億円と5カ月連続の純流出ではあるものの、前月2019年12月(-2900億円)や前年2019年の月平均(-1060億円)から純流出は鈍化している。

一方、純資産では、アセットアロケーションは、2020年1月末に前年同月比+28%の11兆1590億円と過去最高。日本株は前年同月比-4%の9兆4443億円と、2019年8月にアセットアロケーションが日本株を上回って以来、その差は最大となった。

また、2位の米国株だが、昨年末に1483億円という7年ぶりの大型設定に代表される米国成長株に投資するファンドの純流入が加速している。4位公益セクター株と5位通信株は実質グローバル株である。

※2: 主要分類…モーニングスター分類で2019年12月末の純資産の大きい上位5分類である。グローバル株は、2018年11月1日のグローバル分類の変更でグローバル大型株及びグローバル中小型株と分かれた為、グラフでは、従来通りの「グローバル株」として合算する。また、アセットアロケーション型は、「アセットアロケーション慎重型」、「アセットアロケーション柔軟型」、「アセットアロケーション標準型」、「アセットアロケーション積極型」、「アセットアロケーションその他」を合算。米国大型グロース株、マルチオルタナティブ、不動産セクター株/REIT、公益セクター株、通信株、日本債などは「その他」に含む。

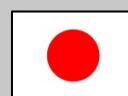
< NISA の投信フロー～新規投資家(NISA 向けファンド)はアセットアロケーション、グローバル株、米国株～>  
最後に新規投資家を示す NISA 向けファンドの純設定を見る。最新 2020 年 1 月は+2095 億円と、前月 2019 年 12 月(+586 億円)を上回り 2 カ月連続の純流入となり、2018 年 10 月(+3270 億円)以来の大きな純流入となった(\*NISA 向けファンド…後述※2 参照)。



(出所:ibbotson及びブルームバーグより三菱UFJ国際投信株式会社商品マーケティング企画部が作成)

### ※3: NISA 向けファンド…

投資信託協会の言う「NISA 向けのファンド(\*分配頻度が低いファンド、低コストのファンド、バランス型ファンド)」を参考にしながら(URLは下記参照)、2013年11月末時点の契約型公募投信純資産が1兆円以上ある投信会社17社(\*全84社の約90%を占める)の株式投信(ETFを含む)で「NISA 向け」、「NISA 専用」、「NISA で選ぶ」、「NISA におすすめ」などと紹介されているファンド、それに加え、2013年4月以降に設定された分配頻度が低いファンドやバランス型ファンドとしている。



日本証券業協会は「NISA 制度の利用者にとって、短期間に金融商品の買換え(乗換え)を行う又は分配金再投資型の公募株式投資信託につき高い頻度で分配金の支払を受けるといった投資手法等は NISA 制度を十分に利用できない場合がある」(URL は下記参照)、投資信託協会は 2013 年 11 月 21 日に『「NISA」の普及・拡大に向けた投資信託商品に関する調査』の中で「NISA においては一般的に、投資未経験者層、或いは徐々に投資を行う層を意識して、比較的风险を抑えた商品」と言っている(URL は下記参照)。尚、2013 年 4 月以降と言うのは、NISA が含まれる税制改正(関連)法が 2013 年 3 月 30 日に成立・政省令公布されたため。また、単位型・限定追加型・年 1~2 回分配以外のファンド・DC・SMA・ミリオン(従業員積立投資プラン)を含めていない。ただ、同じシリーズが該当している場合は年 1~2 回以外を含めている。しかし、通貨選択型については、年 1~2 回以外を除いている(\*マネー・プールは年 1~2 回でも除いている)。こうした「NISA 向けファンド」を抽出した所、2020 年 1 月 31 日時点で 2345 本となった。

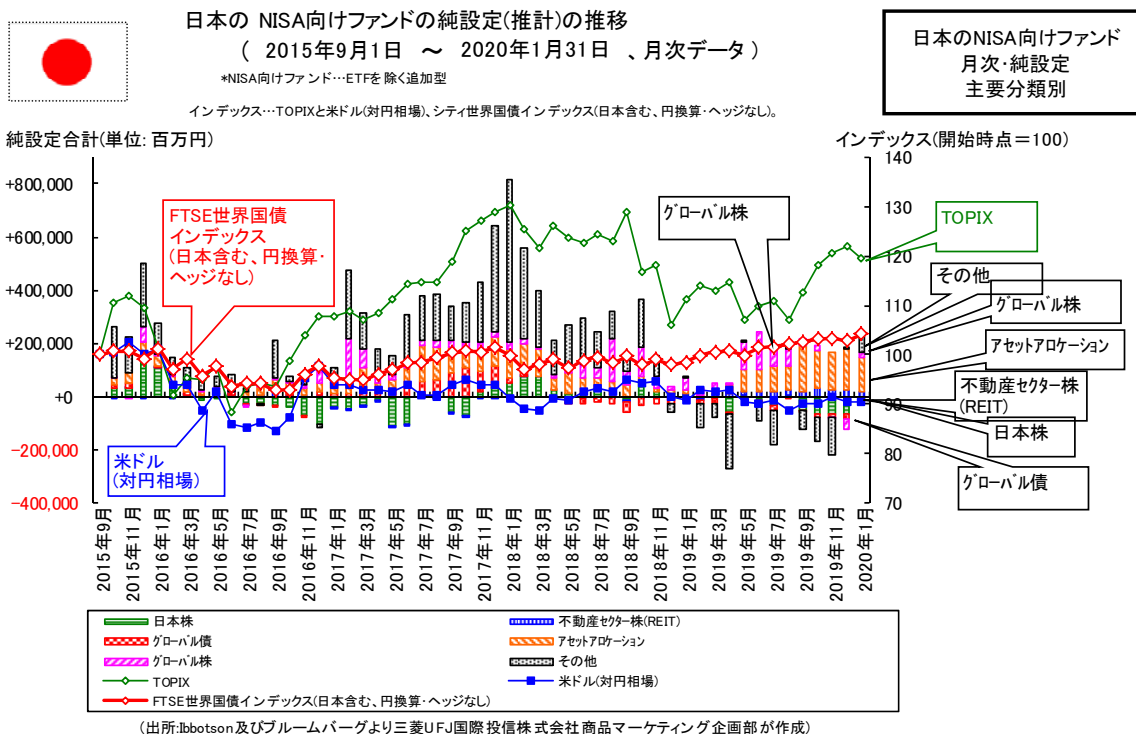
金融庁「つみたて NISA の対象商品」…「<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/tsumitate/target/index.html>」、2019 年 11 月 11 日付日本版 ISA の道 その 287「2019 年もあと 1 カ月半近く! NISA 枠 2019 年分を使う時間は限られている!! しかし個別株銘柄選びが難しい。そこは投信、NISA でどの様な投信が買われてきたかを参考に。~既存投資家(投信全体)、新規投資家(NISA 向けファンド)、そして、つみたて NISA 適格投信の投信フロー~」…「[https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_191111.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_191111.pdf)」、2014 年 1 月 8 日付投資信託協会メールマガジン「NISA 向けのファンドって?」…「<https://www.toushin.or.jp/mailmag/backnumber/>」、2013 年 11 月 21 日付投資信託協会『「NISA」の普及・拡大に向けた投資信託商品に関する調査』…「<http://www.toushin.or.jp/topics/2013/10055/>」、つみたて NISA の要件は 2017 年 4 月 24 日付日本版 ISA の道 その 179「積立 NISA の適格投信は全体の 1%以下でインデックス・ファンドばかり。これを米国に当てはめると、全体の 1.6%でアクティブ・ファンドが半分超に!」…「[https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_170424.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_170424.pdf)」。

この新規投資家と思われる投信の 2020 年 1 月の純設定を、投資対象(主要分類)別に見る。前述した既存投資家と思われる国内投信全体と同じ主要分類を用いると、2020 年 1 月の純設定 1 位はアセット・アロケーションその他(前月 12 月は 2 位)、2 位は通信株(前月 12 月は 9 位)、3 位は米国大型グロース株(前月 12 月は 1 位)、4 位は株式その他(前月 12 月は 3 位)、5 位はアセット・アロケーション慎重型(前月 12 月は 5 位)となっている(下記グラフで、通信株、米国大型グロース株、株式その他は「その他」に、アセット・アロケーションその他・同柔軟型・慎重型は「アセットアロケーション型」に含む~※2 参照)。

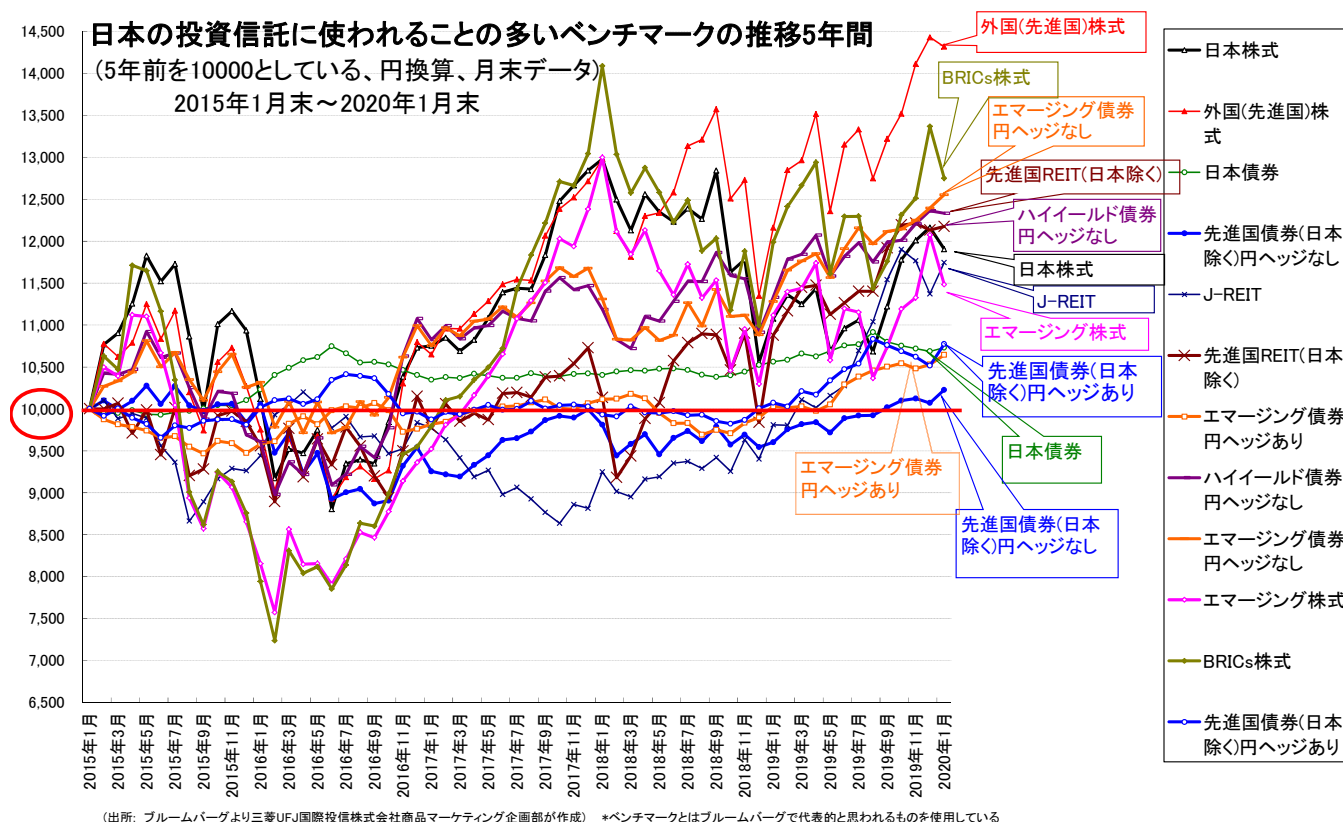
つみたて NISA 投資家と同様、アセットアロケーションの純流入が続いている。2020 年 1 月のアセットアロケーションの純設定は+1325 億円と、つみたて投資家全体(+2095 億円)の約 6 割を占め、前月 2019 年 12 月(+1513 億円)こそ下回るものの、前年 2019 年の月平均(+846 億円)や、前年同月 2019 年 1 月(+147 億円)を上回り、足元 5 カ月連続で 1000 億円台の純流入となっている。

一方、2019 年前半に大きな純流入となったグローバル株は、2019 年末にかけて一部のテクノロジー関連株に投資するファンドの解約で純流出が続いていたが、2020 年 1 月は 3 カ月ぶり純流入。3 位の通信株は、世界の「5G(第5世代移動通信システム)」関連銘柄に投資するファンドを中心に純流入となったが実質グローバル株である。





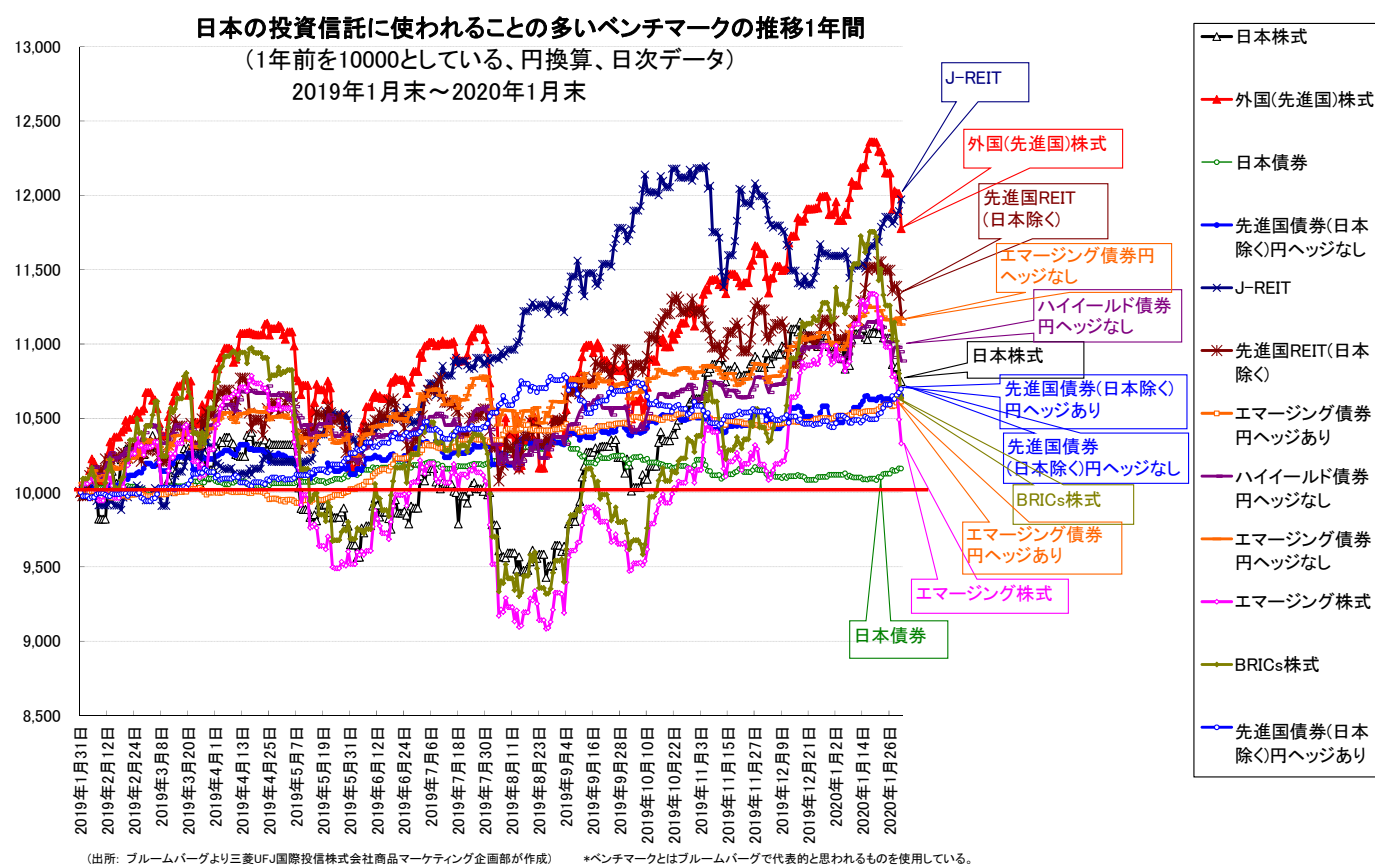
ファンドへの資金流入とパフォーマンスの関係を見る。日本の投信に使われる事の多いベンチマークのパフォーマンス推移を見たのが下記グラフである。パフォーマンスの好い順に、先進国株式、BRICs 株式、エマージング債券円ヘッジなし、ハイイールド債券、先進国 REIT、国内株式、J-REIT、エマージング株式などとなっている(\*5年前を 10000 としている、円換算、月末データ)。





下記グラフは上記グラフの1年のものである。1年のパフォーマンスの好い順に、J-REIT、先進国株式、先進国REIT、エマージング債券円ヘッジあり、ハイイールド債券、国内株式、先進国債券などとなっている(\*グラフは1年前を10000としている、円換算、日次データ)。先進国株式のパフォーマンスは2020年1月の1カ月でみれば次頁グラフのベンチマークの中、下から4番目だったが、2019年11月からの3カ月、3年、5年で最も良かった。J-REITのパフォーマンスは2020年1月の1カ月、2019年8月からの半年や1年で最も良かったが、5年では次頁グラフのベンチマークの中で7番目に良かった。

一方、日本株のパフォーマンスは、2020年1月の1カ月でみれば次頁グラフのベンチマークの中で下から3番目だったが、1年、5年では6番目に良かった。既存投資家(投信全体)や、つみたてNISA投資家(つみたてNISA適格投信)にグローバル株や米国株ファンド人気が見られたが、こうした中長期のパフォーマンスの好さを背景に資金が集まるのは納得のいく所でもある。



以上、NISA で何が買われたかについて見た。つみたてNISAの投資家、既存投資家、新規投資家いずれも、2020年1月は引き続きアセットアロケーションが人気で、この他、グローバル株、米国株が人気だった。「バランス型は中身(株式と債券だけか、不動産投信も含まれるか)や配分(国内と海外の比率や各資産の比率等)が商品によって異なるので、必ず確認しましょう。とくにリスク(どの程度変動するのか)は数値をみておきましょう。」(冒頭記事)にある通り、アセットアロケーションを細かく見ると、つみたてNISAの投資家、既存投資家、新規投資家に共通して「慎重型」が人気で、つみたてNISA投資家は「標準型」、既存投資家と新規投資家では「その他」も人気だった。「慎重型」は、株式の組入比率は20~50%、債券50~80%、「標準型」は株式の組入比率は50~70%、「その他」には、世界の株式、REIT、債券に分散投資をしながら、先物による「レバレッジ(持ち高拡大)効果」で3倍のリターンを狙うファンドなどがある。

もちろんこれは今後を示すものではない。だが、こうした情報が「商品が選びにくく種類が多く選択に迷う人」(2018年3月7日付投資信託協会～URLは後述[参考ホームページ]②参照)、NISAでのREIT投資を検討している人や「つみたてNISA、どの投資信託を選べばいいの?」と思っている投資家にとって(楽天証券「トウシル」～URLは後述[参考ホームページ]①参照)、少しでも参考になれば幸いである。

以 上

[参考ホームページ]

①「トウシル」…「<https://media.rakuten-sec.net/>」、

2020年2月7日付楽天証券「トウシル」「初心者でもNISAでREIT投資！リスク分散効果に注目 楽天証券経済研究所 チーフグローバルストラテジスト 香川睦」…「<https://media.rakuten-sec.net/articles/-/25406>」、

2019年10月15日付日本版ISAの道 その284「日本版ISA(NISA)が日本版REIT(J-REIT)の様に政府目標を超える事を期待! そのNISAでどの様なものに投資されているか～既存投資家(投信全体)、新規投資家(NISA向けファンド)、そして、つみたてNISA 適格投信の投信フロー～」…「[https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_191015.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_191015.pdf)」、

2020年1月22日付楽天証券「トウシル」「つみたてNISA、どの投資信託を選べばいいの? LIFE MAP,LLC 代表ファイナンシャル・ジャーナリスト 竹川美奈子」…

「<https://media.rakuten-sec.net/articles/-/25152>」、

②2019年12月12日の与党「令和2年度税制改正大綱」…「<https://www.jimin.jp/news/policy/140786.html>」、

財務省「令和2年度税制改正の大綱」(2019年12月20日閣議決定) …

「[https://www.mof.go.jp/tax\\_policy/tax\\_reform/outline/fy2020/20191220taikou.pdf](https://www.mof.go.jp/tax_policy/tax_reform/outline/fy2020/20191220taikou.pdf)」、

「令和2年度税制改正の大綱の概要」…「[https://www.mof.go.jp/tax\\_policy/tax\\_reform/outline/fy2020/02taikou\\_gaiyou.pdf](https://www.mof.go.jp/tax_policy/tax_reform/outline/fy2020/02taikou_gaiyou.pdf)」、

2020年1月14日付日本版ISAの道 その292「謎の新NISA(2階建てNISA)を理解～つみたてNISA投資家(つみたてNISA 適格投信)、既存投資家(投信全体)、そして、新規投資家(NISA向けファンド)の投信フロー～」…

「[https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_200114.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_200114.pdf)」、

金融庁「つみたてNISAの対象商品」…「<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/tsumitate/target/index.html>」、

2019年12月20日付金融庁「NISA・ジュニアNISA口座の利用状況調査(2019年9月末時点)」…

「<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20191220/01.pdf>」。

②つみたてNISAの要件は2017年4月24日付日本版ISAの道 その179「積立NISAの適格投信は全体の1%以下でインデックス・ファンドばかり。これを米国に当てはめると、全体の1.6%でアクティブ・ファンドが半分超に!」…「[https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_170424.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_170424.pdf)」、

2019年12月30日付モーニングスター「つみたてNISAが投信勢力図を書き換えへ、小さくとも侮れない資金積み上げ効果」…「<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20191220/01.pdf>」、

金融庁「つみたてNISAの対象商品」…「<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/tsumitate/target/index.html>」、

2019年4月26日付日本証券業協会「NISA制度の口座開設及び勧誘並びに販売時等における留意事項について(ガイドライン)」…「<http://www.jsda.or.jp/anshin/oshirase/files/nisaguideline.pdf>」、

2018年3月7日付投資信託協会「投資信託に関するアンケート調査報告書-2017年」…

「<https://www.toushin.or.jp/statistics/report/research2017/>」。

三菱 UFJ 国際投信【投信調査コラム】日本版 ISA の道 バックナンバー…  
「 <https://www.am.mufg.jp/market/report/investigate.html> 」、  
「 <https://www.am.mufg.jp/smp/market/report/investigate.html> 」

～Google 等で「投信調査コラム」もしくは「日本版 ISA の道」と検索～

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 当資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、三菱UFJ国際投信が作成したものです。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 当資料に示す意見等は、特に断りのない限り当資料作成日現在の筆者の見解です。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。
- 投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。

### 本資料中で使用している指数について

- ・ TOPIX (東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
- ・ FTSE世界国債インデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- ・ 「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。